



GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー第2830地区
2024-25年度 ガバナー月信



国際ロータリー第2830地区と青森大学との 教育連携に関する協定締結更新式



3月26日青森大学にて澁谷泰秀理事長兼学長と。

青森大学
澁谷

Contents

- ・ 巻頭言
- ・ 今月のガバナーメッセージ
- ・ ロータリー特別月間
- ・ 地区委員長紹介
- ・ 25-26年度DTLS開催報告

- ・ 南グループインターシティ・ミーティング開催報告
- ・ 米山奨学生修了証書授与式
- ・ 各クラブの奉仕活動
- ・ RID3330地区大会レポート
- ・ 会員動向

国際ロータリー第2830地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

巻頭言



気温が10度を超える日も多くなり、スギ花粉に悩まされる季節となりました。ロータリーではDTLS、PETSと次年度の研修が始まりましたが、ロータリアンの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

3月は1日の米山奨学生修了証書授与式からスタートし、2日はDTLS、22日～23日にPETSと、次年度の地区行事がいよいよ始まりました。米谷ガバナーエレクトの次年度地区スローガンは「ロータリーの不易流行」です。本質と変化のバランスが求められそうです。

3月13日には、昨年11月にパキスタンにポリオワクチン投与活動に行ったメンバー7名で、宮下宗一郎青森県知事に活動報告をして参りました。知事はポリオの実情やパキスタンの政情にも強く興味を示され、予定時間をオーバーして対応下さいました。この場を借りて感謝申し上げます。



3月15日、16日には、第2610地区(石川・富山)の地区大会に妻とともに参加しました。地震と水害の被害に遭った能登半島を抱える地域ですので、多くのガバナーとパートナーが参加し、

復興に向けての発信になったと思います。第2520地区(岩手・宮城)の大船渡山火事への支援金も合わせてよろしくお願い致します。

スポーツの話題では、3月20日にサッカー日本代表が、予選を3試合も残して世界一早くワールドカップ進出を決めたバーレーン戦が印象的でした。「ドーハの悲劇」と言われ、ワールドカップ出場が大きな壁だった時代を経て、8大会連続出場、選手たちはワールドカップ優勝を目標に掲げています。森保一監督と同一年の私としては、代表選手たちは子供のような年代となってしまいましたが、歴代最強と言われる代表チームにエールを送っています。見ていると本当に技術的にうまいし、90分走り回るタフさも持っています。バーレーンも決して弱いチームではないことも分かりますが、日本はミスがほとんどなく、安心して見ていられる強さを感じます。

PETSでDEIの講演をされた第2660地区の宮里唯子PGは、若い人に活躍してもらうために、ロータリーの会合などにもあまり出ないことにしているのだそうです。言行一致、DEIを深く理解し、心から若い人の活躍を称え、伸ばしていくのは、何もロータリーには限りません。あらゆる場面で、伸び伸びと若い力を発揮してもらえるように、ベテランたちは一歩も二歩も引いて口を出さずに見守るべきなのでしょう。

政治のニュースでは、10万円の商品券。首相を筆頭に、高齢者の感覚が世の中とずれてしまっていることを図らずも明らかにしています。自分も気をつけなければと思う今日この頃でした。





今月のガバナーメッセージ

会員増強の本質

ガバナー 花田 勝彦

昨年1月のRI理事会で、当地区が2026年7月1日までに会員数1100名に達しなかった場合、隣接地区と合併することに同意するという決議がなされたことを受けて、「第2830地区 緊急事態宣言」を発出して、会員増強を呼びかけて参りました。

各クラブ会長をはじめとした皆さんのこれまでの努力と熱意により、現在まで、地区全体で43名の会員が増加し、1132名(3月29日現在)となっています。これから3月末、6月末という会員数が減少する時期が到来しますので、引き続きのご協力をお願い致します。

会員増強については、今年度に入ってから、地区戦略計画委員会を5回開催し、対応策を検討して参りました。来る4月26日の「地区クラブ活性化ワークショップ」では、この委員会での検討状況の報告と、クラブ細則案に落とし込んだ形での地区から各クラブへの提案をしたいと考えています。登録締切は4月11日までとなっていますので、多くの皆様のご登録をお待ちしております。

さて、「会員増強」は古くからロータリーの課題として認識され、議論されてきました。経済成長にしたがって右肩上がりでも会員数を伸ばしてきたころには、「会員の質か量か」つまり会員を増やすと質が低下するのではないかという問題提起や、「一業種一会員の原則」を維持すべきか等が話題となっていました。時代を経て、この原則

は撤廃され、会員資格の柔軟性が取り入れられました。

会員増強は会員の多様性という観点から議論されるようになり、DEIへと繋がっていきます。多様性のある会員を受け入れて、全ての会員にリーダーとなる機会を提供し、居心地の良いクラブ作りを目指すという姿勢です。DEIはクラブのメンバーにクラブへの帰属意識をもたらし、そこに新しいメンバーを勧誘する動機付けが生まれ、会員増強に繋がっていくというサイクルです。

会員増強に関するラーニングセンターの最初に「人は、あなたが何を言ったかは忘れてしまうかも知れませんが、あなたと接してどのように感じたかは忘れないでしょう。」というカール・W・ビューナーというアメリカの宗教指導者の言葉を引用しています。会員のクラブでの体験は、ほかの会員に抱く感情によって大きく左右されるということです。例会や会員との交流を楽しむこと、自分の個性が尊重されていると感じること、例会で自分の時間を有効に使っていると感じられること、クラブの活動やロータリーが提供する機会を誇りに思えること、これらのことがクラブ体験を向上させる要素だといえます。これらは、自分がロータリークラブの会員であることの意義であり、そのようなクラブに仲間を招き入れたいと思うことは自然なことでしょう。

元気なクラブ、魅力的なクラブであるということは、そのクラブのメンバーである私たち自身が、職業や社会生活を充実させ、活力を発信し、クラブや地区のメンバーと親睦と奉仕という理念を共有している状態なのだと思います。

「会員増強の前提となるのは、寛容、すなわち相手に対する思いやりの態度である。ロータリーの綱領も奉仕の理念にして

も、思いやり、すなわち寛容を基盤としている」という元RI理事蔵並定男氏(鎌倉RC)の言葉も、同じ発想に立つものと思えます。

私たち一人ひとりが、自己研鑽をし、思いやりの心をもって他者に接すること、それはつまりロータリーの理念を実践することであり、会員増強の本質もそこにあるのだと思います。

ロータリー特別月間

環境月間にあたって

ガバナー 花田 勝彦

国際ロータリーが「環境」を7つ目の重点分野としたのは、2021年7月からと、そう古いことではありません。とはいえ、環境問題は、それ

までも、地域の問題として、世界中のロータリークラブが活動の対象としてきたことですし、国際ロータリーが取り組む地球規模の活動として適切なものです。

「アースデイ(地球の日)」は、1970年に地球環境の問題に関心をもってもらうきっかけとして、アメリカで呼びかけられました。人類が月から地球を初めて見たのが1968年のことであり、人びとの意識が地球



環境

全体に向けられ始めた時期です。4月22日という何でもない日を定めたのも、我々の当たり前の日常という発想があったのかも知れません。

その後、日本でも「省エネ」という言葉ができ、「リサイクル」に取り組むようになって、地球環境に対する意識が少しずつ我々にも根付いてきました。

SDGsでも、環境分野の目標は気候変動、海洋資源、生態系など、いくつものゴールに関わっています。今やほとんどの業種、企業においても、環境への取り組みは必須のものとなっています。

このように、環境問題は、私たちに最も身近で、重要な問題である反面、常に意識をしていないと忘れがちなものでもあります。ひとりひとりの小さな行動の積み重ね



が、大きな効果に繋がることを改めて心に刻もうと思います。

省エネやリサイクルは、今もエネルギーとゴミの削減に関して、私たちにできる基本的な取り組みです。消費行動としての「地産地消」、「エシカル」も一般化してきています。商品ラベルに表示される環境に優しいとされるマークも「エコマーク」だけでなく、「グリーンマーク」、「カーボン・ニュートラル」等、多岐にわたります。

こうした個人の活動を超えて、私たちは、ロータリーとして、より大局的、長期的な視点をもって、環境問題に取り組んで行くことができ、また求められていると思います。企業の経営に関わるロータリアンは、本業の中で行っている取り組みを、ロータリーでも活かしてほしいと思います。

地区補助金事業としては、むつRCの桜並木の整備、東北RCの小川原湖の水環境



保全事業、おいらせRCのテーマ旗再利用のエコバッグ製作、五所川原イヴニングRCのビーチクリーン活動、ほかにも植樹や清掃活動を実施しているクラブがたくさんあります。

私自身が参加した活動としては、2021年6月(源新和彦ガバナー年度)に、当時のローターアクトのメンバーと一緒に、種差海岸の清掃活動を行ったことや、成田秀治ガバナー年度での日本中での海岸清掃活動に参加したことが思い出されます。

環境月間を契機にして、クラブでできる環境保護活動について、アイデアを出し合い、行動に移してみたいかがでしょうか。

今回、この原稿を執筆するために調べたり、考えたりすることによって、私自身ができる環境問題を改めて認識し、ロータリーとしての環境への関わりも理解できたように思えます。今度はそれを行動に繋げていくことが大切です。一緒に取り組んで行きましょう。



2021.6.5 ローターアクトと種差海岸清掃活動



2021.9.12 出来島海岸清掃活動



地区委員長の 横顔

Vol.2

皆さんこんにちは！第2830地区青森
ロータリークラブ所属の櫛引大樹と
申します。

2014年5月に入会してからというものもう10年選手になったことを自分でも驚いています。入会したきっかけは、ずばり父親（当時の社長）に「おらぁ行きたくねえからおめえ行ってこいじゃ」と言われたことでした。わけもわからずとりあえずスーツを着て例会場へ行き、とても緊張しながら自己紹介をしていたことを昨日のこのように覚えています。

私の生業は管工事業を営む株式会社 大樹設備工業という会社を経営しています。

管工事業という名称がぴんと来ない方もいると思いますが、住宅を例えて少しだけ説明します。住宅内で快適に過ごすためには、土台となる基礎工事や雨風をしのぐための屋根や外壁、住宅内での電源や照明、そしてトイレやお風呂・エアコンが必要になります。弊社はその中で主にトイレやエアコン等の設計・施工・監理・メンテナンスを非住宅（いわゆる箱物）にて行っています。青森県内・外にて業務を行っているため、ご用命の際はお気軽にお問い合わせください。

家族構成（写真③）は、妻（年齢非公表）・長女（11歳）・長男（9歳）・次男（6歳）・次女（ビーグル・モモ・1歳）の6人家族です。最近長男がドラムに興味を持つようになり、習い事の月謝やドラムセットの金額に頭を悩ませています。次女に関しては、

ゴルフ好きな2男1女+1匹の父

地区資金推進委員会 委員長 櫛引 大樹
（青森RC）

私が初めてワンチャンを迎えたこともあり勝手にわからず、やんちゃなモモちゃん（写真②）と格闘しながら日々幸せを感じている毎日です。

趣味といえるものはあまりなく、しいて挙げればゴルフと家族旅行となります。

ゴルフは始めてから14～15年程度は経っていますが一向にうまくなる気配がありません…。ただ、一組4人でプレー日の半日を一緒に回ることによって親睦を深めていく感じは大好きです。また、一部の間では「酔拳」のあだ名で知られており(?)、ハンドルの握らない日は朝からお酒を飲みながらプレーし、同伴者と楽しく回っています。

家族旅行に関しては、妻が旅行好きで年に2～3回は国内旅行を楽しんでいます。特にディズニーランドが大好きで、少しでも隙があると私の予定に旅行の計画をぶつけてくるので、私も負けずに仕事の予定を上書きするおいかけてを楽しんでいます。

今でこそ地区の委員長やクラブでは会長ノミネーに選んでもらえた私ですが、入会してすぐの頃はここまで頑張れるとは思っていませんでした。冒頭にある通り、私は父親の身代わりで入会したつもりだったのであまりロータリーに興味を持っていませんでした。周りを見渡せば自分の父と同世代の会員が多く、異業種の方々ばかりで話題がなく、居心地が悪いと感じてしまうことがありました。そんな中、なかよし会（青森クラブでのゴルフ同好会、写真①）だけはなぜかたびたび参加していました。当時



のなかよし会幹事に可愛がってもらい、一緒に事務局を担当し始めてから少しずつ私の中でロータリーが大きくなっていきました。なかよし会会員との交流で、異業種であるがゆえのモノの見方・考え方を知ることができて、自分の思考の世界が広がっていきました。具体的には物事を思考・判断するときに俯瞰して考えられるようになったと思います。なかよし会に限らず異業種（しかも大社長や幹部）の方々との交流は、今では私のロータリー活動の中で最も大き

な楽しみの一つになりました。(写真④)

最後になりますが、これからも日々成長できるようにロータリー活動に勤しんでいきたいと思います。また、成長の機会を逃す欠席の多い会員へのフォローをしていきたいと思います。また、大きく成長できるチャンスである活動をするための地区補助金やグローバル補助金へのご理解を賜り、第2830地区内の全てのクラブで寄付金ゼロのクラブが出ないよう、ご協力のほどお願い申し上げます。



写真① 青森クラブのゴルフ同好会の集合写真



写真③ 去年のディズニーランドに行った際の美女と野獣のアトラクションに乗った際の写真



写真② ペットのモモちゃん1歳



写真④ 昨年度の最終例会で披露した力士姿です。四股名は「大樹山(だいじゅやま)」



平和フェロシップ・奨学金・学友委員会 委員長
竹島 直樹(十和田東RC)

皆様、初めまして十和田東ロータリークラブ所属の竹島直樹です。

職業は柔道整復師で整骨院を開業して32年目になりました。その他、老人デイサービスの介護施設の運営をしております。職業分類は、介護医療でございまして、この業界も人手不足に悩まされ外国人労働者の導入も検討しております。

柔道とギターを小学生から習い、柔道は5段です。十和田市柔道協会の理事として、現在も柔道と関わりを持ち、少年柔道大会などに協力しております。ギターは最近弾いておりませんが、フォークソングが好きで、よくカラオケで歌います。

地元の三本木高等学校を卒業して、小田原市にある鍼灸マッサージの専門学校へ進学し、箱根の温泉宿でマッサージの仕事をしながら学校へ通いました。三軒茶屋の接骨院に就職し、その後に仙台市の東北柔道専門学校で柔道整復師の資格を取得しました。盛岡市の加賀野接骨院で修行して26歳で地元に戻り開業しました。3人の子供は独立し地元にはいませんが、去年は初孫が生まれました。

2年前に十和田市市議会議員選挙で当選して市議会議員となり、二足のわらじを履いております。最近の議会の様子は、YouTubeで生配信しており傍聴に行かなくても見ることが出来ます。アーカイブでも



見られ、切り抜き動画もありますので、興味のある方は「十和田市議会竹島」で検索してご覧になってみて下さい。

2018年にロータリー入会、2年目でクラブ幹事、4年目でクラブ会長、5年目で地区委員、6年目で地区委員長になり現在7年目です。十和田東ロータリークラブは、創立60周年を迎え4月12日の記念式典には、沢山のロータリアンの皆様にご登録いただいております。姉妹クラブである台湾の羅東ロータリークラブにもたくさんのご登録を頂き感激しております。羅東高校とは、地区でもアクトの翼で交流しており、昨年12月も台湾に行って参りました。インターアクターは、それぞれのホームステイ先で貴重な文化交流や体験をして大きく成長し、2泊3日のホームステイの最終日お別れの朝には惜別の情に触れたそれぞれの



2024.12.27 羅東高校の生徒さんの歓迎の合唱

姿が見られました。参加した高校生は羅東での経験が将来きっと良い思い出となり、羅東の皆さんを忘れることはないでしょう。来年は羅東高校の生徒を青森にお招きしホームステイで交流を予定しておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平和フェローシップ・奨学金・学友委員会の来年度の活動計画は、以下の通りです。

1. 平和フェローシップ

ロータリー平和センター提携大学で学べ、ロータリーから全額支給の奨学金が授与されます。

2. グローバル補助金奨学金

4年制大学を卒業し海外へ留学を希望する方にロータリー財団の奨学金を提供し支援します。

3. 地区補助金奨学金

高校卒業予定者に大学へ進学する際の奨学金を支給します。

4. 学友の活動の報告や連絡網の確立に努力する。

来年度も平和フェローシップ、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生を募集しますので、適任者がおりましたら推薦をお願いいたします。



羅東ロータリークラブの皆さんと食事会。左から2番目が筆者

地区チームラーニングセミナー(DTLS) 開催報告

DTLS実行委員長 藤井 健二
(青森モーニングRC)



2025年3月2日(日)、リンクステーションホール青森(青森市文化会館)にて次年度へ向けての最初の研修となる地区チームラーニングセミナーを開催しました(出席者82名)。今回よりセミナー名称がこれまでのDTTS(研修)からDTLS(ラーニング)に変更となりました。

花田勝彦ガバーナーの挨拶に続き、沼田廣次期地区ラーニングファシリテーターより本セミナーの趣旨説明がありました。

米谷恵司ガバナーエレクトより、2月7日～15日にアメリカ合衆国フロリダ州オーランドにて開催された国際協議会におけるマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトのメッセージ講演や本会議、分科会、多くのロータリアンとの交流の様子について報告がありました。(次年度はRIテーマではなく、メッセージ『UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう』となるとの事です)

基調講演は、RI第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐(ARPIC)である田中久夫様(第2840地区2017-18年度ガバナー、高崎RC)より「会員増強を考える」と





題して増強に対する考え方や戦略、具体的手法等について密度の高いご講演を頂きました。参加者は真剣な面持ちで聴き入っていた様子でした。

田中様は『ロータリークラブに入ろう！』（幻冬舎ルネッサンス新書）という著書を出版されており、ご自身が会長・ガバナーを務められた時期に大幅な会員増強を果たした実績を踏まえた内容とのことです。

地区運営方針では、米谷恵司ガバナーエレクトより地区スローガン『ロータリーの不易流行』の発表、基本方針として『会員増強で地区・クラブの活性化を!!』、重点項目として『会員増強(会員数)…1,150名』の説明がありました。また、2026年7月1日に地区会員数が1,100名を下回った場合は隣接地区と

の合併となる旨が強調されました。

分科会では、9委員会・部門に分かれ、委員同士の自己紹介、当年度の活動状況・予定や次年度の重点事項について話し合いました。また、「田中ARPICを囲む会」も同時に開催され意見交換がなされました。

懇親会では、担当パストガバナーを含め委員会ごとに座席を配置し、花田勝彦ガバナーの乾杯に続き、委員会内の親睦を深めることができました。次年度に向けての力強いスタートが切れたのではないかと思います。

ご多忙の中、今般のDTLSにご出席頂き、また運営に対しご協力を頂きましたロータリアンならびに米山奨学生の皆様に深く感謝申し上げます。



インターシティ・ミーティング開催報告

南グループIMを開催して

南グループガバナー補佐 島浦 理
(八戸西RC)



2025年2月22日、八戸プラザホテルアーバンホールにて南グループインターシティミーティング(IM)が開催されました。

今年は八戸西ロータリークラブが創立以来初めてのホストクラブとなり、約1年前から実行委員会を立ち上げ、来たる日のために準備を進めてまいりました。一番悩んだのはIMのテーマです。IMはロータリアンがロータリーについて学ぶ場、やはり国際ロータリーが重要論点とするDEIについてとりあげたらいいのか、非常に悩みましたが、今年度の地区スローガンは「個性輝くロータリー」。そして南グループガバナー補佐である私の職業は「税理士」です。常日頃から経営者に接していて感じることは、意外に「税」について正しい理解をしていない方が多いということです。小学校、中学校、高校には教育カリキュラムとして租税教室があり、税に対する教育が行われています。しかし、大人になってからは税について学ぶ機会はめったにあり

ません。

ロータリアンは経営者、事業主など様々な職業の方々の集まりで、税とは深くかかわりがあります。このような場で、税について勉強する機会があってもいいのではと思います。東京で毎月行われている危機管理研究フォーラムで講師をされていた八戸出身の前国税庁長官住澤整様にフォーラムの主催者を通し講演

を依頼したところ、快く引き受けていただきました。ロータリーには4つのテストがあります。4つのテストを基に自分の職業を全うし、税金を納め、みんなが豊かで安全な暮らしができる。これは社会奉仕、職業奉仕に繋がっていると考えテーマを「税」としました。

IMの1部は開会セレモニーです。開会点鐘で幕を開け、国歌、ロータリーソング斉唱、ガバナー補佐の開会挨拶、IM実行委員長の来賓・参加クラブ紹介、花田ガバナーの挨拶と続き、ホストクラブ会長の歓迎の言葉で締





めくくりました。

第2部は特別講演、前国税庁長官の住澤様から「わたしたちの社会と税」というテーマで講演をいただきました。どのような税の在り方が公平なのかを中心として、時にはクイズ形式を用い、受講しているロータリアンに問いかけるなど会場参加型のスタイルで進められました。税がなければ安心して暮らせる社会は維持できないが、税の公平はそれぞれの立場によって違いがあり、その税の負担、受益はそれぞれの立場で違ってくるため、そのバランスが大切です。お互いの立場を理解しあい、熟議を重ねて税制をつくっていく必要があるとの内容でした。住澤様からは高校生が理解できる内容で講義しますとのことでしたが、高度な内容も含まれており、なかなかすべてを理解するのは難しかったのではないのでしょうか。実際に国の中枢で税制をつくる側に携わっていた住澤様による貴重なお話、誠にありがとうございました。



閉会セレモニーでは花田ガバナーからの講評で、「私たちが生きていくうえで避けては通れない「税」について、公平さを保つためには、我々もこういう風にしてほしいという声を挙げていかなければならない」という言葉が印象的でした。

閉会点鐘で閉会セレモニーが終了し、IMのもう一つの目的である親睦を深める懇親会の始まりです。

懇親会はガバナーノミニ成田俊介様、ガバナーノミニデジグネート岡山信広様の紹



介、南グループ次期ガバナー補佐小林幹夫様、次期幹事クラブ(八戸ロータリークラブ)会長石橋信雄様の紹介と続き、築館パストガバナーの乾杯で幕を開けました。懇親会での積極的なロータリアン同士の交流の中、岡山信広青少年交換委員長による日本青少年交換研究会青森会議のプロフィール、八戸西ロータリークラブ会員で歌手である栗山恵子様による歌の余興、ポリオ根絶の寄付も行われました。ポリオの寄付については約10万円集まり、感謝申し上げます。田中パストガバナーの中締めではねぎらいの言葉をかけていただき、誠にありがとうございました。最後は「手に手つないで」で幕を閉じ、短い時間でしたが楽しい時を過ごすことができました。

八戸西ロータリークラブ初のIMで不行き届き等多数あったと思います。謹んでお詫び申し上げます。皆様の協力のおかげでIMをやりきることが出来ました。2月という足元の悪い中お越しいただいたロータリアンの皆様、ありがとうございました。



2024-25年度米山奨学生修了証書授与式

米山記念奨学委員会 委員長 佐藤 一尚
(青森RC)



少しずつ気温が温かく感じ、雪の猛威も落ち着きつつある今日この頃となりました。気づけば、あっという間に3月となり、旅立ちの季節となりました。3月1日(土)ホテル青森において、2024-25年度米山奨学生修了証書授与式を実施させて頂きました。

今年度の卒業する奨学生は、門士虎さん(弘前西RC、佐藤玲恵子カウンセラー)、孫佳琰さん(十和田RC、佐々木千佳子カウンセラー)、程佳萌さん(八戸RC、村上壽治カウンセラー)、叶文婷さん(弘前RC、鈴木直子カウンセラー)、サイスツツパティターさん(野辺地RC、野坂幸子カウンセラー)の5名でした。授与式には、花田ガバナー、米谷ガバナーエレクト、沼田・田中両パストガバナーにご臨席頂き、各クラブカウンセラー、在籍

奨学生とそのクラブ会長やカウンセラーにもご同席頂き、和やかな雰囲気の中、挙行出来ました。

5名の卒業生には修了証書と記念品、カウンセラーの皆様には感謝状と花束を、花田ガバナーより授与して頂きました。その後、花田ガバナーからは式辞、米谷ガバナーエレクトからは祝辞を頂戴し、そして5名の卒業生よりお礼の言葉では、それぞれの感謝の気持ちや今後の進路など、思い思いに流暢な日本語で堂々と伝えておりました。その場面を見た時、「すごいな」という驚きと嬉しさがこみ上げてきました。

振り返ってみると、5名の卒業生とは面接選考会で初めて会い、その後オリエンテーションをはじめとする様々な場面で活動を共



にしてきました。活動の時々で見てとれる成長もありましたが、米山奨学生という機会を得て全てを修了した成果が、確実にその場にありました。でも、今後はなかなか会う機会が無いという実感もあり、嬉しさ半分、寂しさ半分といった感情が素直なところでした。委員会の人間であっても、このような感情で

すから、カウンセラーの皆様は、これ以上の感情だろうと思います。日々お世話頂き、親子のように接してきたからこそ、比べようの無い感情が去来したことだろうと思います。しかし、この成果は誰であろうカウンセラー、そしてお世話頂いたクラブの皆様のおかげです。書面上となりますが、これまでのご労苦に感謝申し上げます。ありがとうございます。

様々な人との出会いは、その人を成長させてくれると信じております。卒業する奨学生は、これからどんな人と出会い、どんな成長を遂げていくのか楽しみです。今後はなかなか会う事も叶わなくなりますが、今よりも、もっと成長した姿をいずれ見られたら良いなと思います。卒業する奨学生の皆さん、またお会いしましょう！そして、今後の活躍に幸あらんことを！

4月より継続4名、新規11名の計15名の米山奨学生を当地区でお世話する事になります。米山記念奨学委員会では様々な活動を行っていきます。クラブ会長はじめとする各クラブの皆様には、引き続きの米山奨学生に対するご理解ご協力ご支援を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



各クラブの奉仕活動

特別養護老人ホーム「寿幸園」での冬支度支援奉仕活動(2024.11.24)

青森北東ロータリークラブ



※注意 個人情報に関する無断転載、二次利用は固くお断りします。



RID3330地区大会レポート

3月15日、タイ3330地区でジャクチャイガバナーの地区大会が開催されました。

その日は2610地区の地区大会と重なったことから、工藤武重パストガバナーご夫妻にガバナー代理としてご出席の上、挨拶を代読していただきました。

日本語で考えた挨拶を英訳してもらい、パワーポイントを作成し、英語で録音したmp3ファイルも予めメール添付で送っておいたのですが、当日これがうまくいかずに、工藤PGが挨拶文を日本語で代読し、英語とタイ語の字幕がスライドで放映されたそうです。

幻となったパワーポイントは、pdfにして地区のホームページにアップしています。興味のある方はアクセスしてみてください。(URL:<https://www.rid2830.org/informations/238>)



会員動向

【入会者】



飛島 芳史
(むつ中央)
2月26日入会



工藤 信也
(十和田八甲)
2月1日入会



長根 祐子
(青森)
2月27日入会



大嶋 秀樹
(八戸東)
2月21日入会



松田 依子
(八戸南
さくらエトR 衛星)
2月7日入会



鳥谷部 雅子
(八戸西)
2月1日入会



【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
十和田八甲	石川原 竜太	2月28日
青森	武石 勝生	2月28日
八戸	渡部 充	2月28日

【ご逝去会員】

謹んでご冥福をお祈りいたします。



今 明文（五所川原中央）
1月8日ご逝去



西川 末春（八戸東）
2月15日ご逝去

【ロータリー財団寄付】



岡本 佳隆
(十和田八甲)
PHF+4



岩間 恵美郎
(十和田八甲)
PHF+1



大柳 泰光
(十和田八甲)
PHF+1



樋口 大
(十和田八甲)
PHF+1



寺澤 憲司
(十和田八甲)
PHF+1



石川 聡
(十和田八甲)
PHF+1



舂舘 和博
(十和田八甲)
PHF+1



赤坂 幸延
(十和田八甲)
PHF+1



佐藤 祐二
(十和田八甲)
PHF



成田 一郎
(十和田八甲)
PHF



中岫 崇
(十和田八甲)
PHF



佐々木 智章
(十和田八甲)
PHF



畑中 健一
(十和田八甲)
PHF



関場 慶博
(弘前アップル)
メジャードナーレベル2



工藤 真人
(青森)
PHF+1



上野 浩之
(青森北東)
PHF



蛇口 和憲
(八戸西)
PHF+1

2025年2月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	3	100.00	51 (9)	0 (0)	0 (0)	51 (9)	3 (1)	50 (9)	2 (1)	1 (1)	27.45
	野辺地	3	87.88	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	88.39	12	0	0	12	2	11	1	0	16.67
	東北	3	81.30	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	3	65.00	20	1	0	21	0	20	1	0	14.29
	六ヶ所	3	76.00	38	0	0	38	1	32	7	1	26.32
	小計				150	1	0	151	10	142	11	2
東第二グループ	三沢	3	65.08	22	0	0	22	1	23	0	1	40.91
	十和田	4	100.00	35	0	1	34	9	34	1	1	29.41
	十和田東	4	48.60	29	0	0	29	4	25	4	0	50.00
	おいらせ	1	83.00	6	0	0	6	0	6	1	1	50.00
	三沢東	3	59.70	35	0	0	35	4	34	1	0	31.43
	十和田八甲	3	60.10	84	1	1	84	1	80	6	2	37.65
	小計				211	1	2	210	19	202	13	5
西第一グループ	五所川原	4	57.08	58	0	0	58	6	52	6	0	70.69
	金木	4	75.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	67.60	17	0	0	17	2	16	1	0	35.29
	鶴田	1	75.00	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	48.00	24	0	0	24	2	25	0	1	44.00
	つがる	3	70.70	33	0	0	33	0	30	5	2	33.33
	五所川原イヴニング	2	54.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小計				177	0	0	177	19	168	12	3
西第二グループ	弘前	3	77.80	49	0	0	49	4	45	7	3	51.02
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	1	100.00	10 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (4)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	3 (1)	50.00
	板柳	2	85.00	10	0	0	10	0	10	0	0	40.00
	黒石	2	67.00	23	0	0	23	3	20	3	0	47.83
	大鱧	3	60.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	33	0	0	33	6	30	3	0	60.61
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	60.00	15	0	0	15	2	16	0	1	73.33
小計				158	0	0	158	19	152	13	7	
中グループ	青森	3	57.40	107	1	1	107	10	105	7	5	99.07
	青森北東	2	87.20	21	0	0	21	3	22	0	1	66.67
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	73.50	20	0	0	20	4	21	1	2	65.00
小計				154	1	1	154	18	154	8	8	
南グループ	八戸	2	70.10	66	0	0	66	0	65	2	1	39.39
	八戸東	2	100.00	47	1	1	47	0	46	2	1	55.32
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	83.30	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	60.00	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	2	66.70	38	0	0	38	7	38	1	1	52.63
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	2	100.00	43 (11)	1 (1)	0 (0)	44 (12)	14 (12)	39 (11)	8 (3)	3 (2)	86.36
	八戸中央	3	44.70	18	0	0	18	4	20	0	2	44.44
	八戸西	3	60.00	34	1	0	35	21	33	2	0	45.71
小計				276	3	1	278	48	271	15	8	
合計 40RC				1,126	6	4	1,128	133	1,089	72	33	52.08

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,098名です
2月末現在の入退会人数です



地区行事予定			
2025年4月 環境月間			
月日	曜日	内容	会場
1	(火)		
2	(水)		
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)	十和田RC創立65周年	サン・ロイヤルとわだ
6	(日)		
7	(月)		
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)	十和田東RC創立60周年	サン・ロイヤルとわだ
13	(日)	新米山奨学生とカウンセラーオリエンテーション	ホテル青森
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)	クラブ活性化セミナー2025 (～18日)	JPタワー ホール&カンファレンス
18	(金)		
19	(土)	八戸南RC創立50周年	八戸パークホテル
20	(日)		
21	(月)		
22	(火)		
23	(水)		
24	(木)		
25	(金)		
26	(土)	地区クラブ活性化ワークショップ 第12回全国インターアクト研究会 長野会議 (～27日)	ホテルサンルート五所川原 ホテルブエナビスタ
27	(日)		
28	(月)		
29	(火)	昭和の日	
30	(水)		

地区行事予定

2025年5月 青少年奉仕月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(木)		
2	(金)		
3	(土)	憲法記念日	
4	(日)	みどりの日	
5	(月)	こどもの日	
6	(火)	振替休日	
7	(水)		
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)	地区研修・協議会 第17回全国RYLA研究会 広島会議	リンクステーションホール青森/ホテル青森 安芸グランドホテル
11	(日)		
12	(月)		
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)		
17	(土)	米山奨学生卓話講習会	ホテル青森
18	(日)		
19	(月)		
20	(火)		
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		
24	(土)	第57回インターアクト年次大会 RLI (~25日)	りんご公園 (弘前市) はまなす会館 (青森市)
25	(日)		
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		



地区ホームページ更新のお知らせ

当地区のホームページ(※ダウンロード方法)におきまして、「2008-09年度ROTARYスタイルガバナーメッセージ集」を掲載いたしました。

本集には忘れてはならない大事なメッセージが沢山込められております。お時間がございましたら、是非お読みください。

URL:<https://www.rid2830.org/download>

(※トップページ>ロータリー情報>その他・ダウンロード>その他資料ダウンロード)



みなさんのロータリー活動をご紹介します ~記事投稿のお願い~

(提出先は地区事務所まで、締め切りは毎月24日)

編集後記

私は、以前からロータリーバッジに興味を持っていたこともあり、RI会長の年次テーマバッジについて、「RI会長テーマの歴史」「バッジとは何か?(デザイン含む)」等の歴史を調べた事がありました。そして、先般の「2025-26年度からはRI会長の年次テーマとロゴの作成が廃止となる——」という発表は少し驚きましたが、私にとってはロータリーの将来像を考えるひとつのタイミングになりました。

皆さまは、何かの折に「徽章の歴史(変遷)」の資料等をご覧になった事があるかと思います。本年度の友誌8月号のRI指定記事(P54)でも、記事冒頭にマーク・ダニエル・マローニー氏(24-25年度ロータリー財団管理委員長)がロータリーの徽章好きであり、『ロゴ(歯車)が意味する多くの可能性』を感じていると述べられた所は印象的でした。

この「可能性」とは一体何か?——例えば、過去の文献から多くの歴史を紐解く事で、私たちが当たり前に付け続けているバッジには、様々な時代の想いが込められている事が分かります。それは、ロータリーロゴのデザインが幾度と変更された時代であり、過去にロータリーバッジ着用し物申したロータリアンがいた時代(「ロータリーバッジ無用論」(友誌1969年2月号))でもありません。もっと遡れば1924年当時「Inner Wheel」(友誌1982年4月号)というRCに入れなかったロータリアンの親族の女性だけで構成されたクラブが存在した時代もあれば、時が流れてDEIが生まれた現代等、様々な時代を経て、様々な変化を受け入れて、今のロータリーが存在しています。人により変化に対する考え方は様々ですが、少なくともこれから不安を抱くよりも、受け継がれた土壌(クラブ)に新しい種を植えるための準備をする(変化に備える)事が重要だと私は考えました。——マローニー氏は一体どの様に鋤を手「土壌」を耕し、一体どの様な夢を見て可能性の「種」を蒔いているのでしょうか?私たちが取り組む事で、彼が述べた「可能性」という芽が出て根付かせる事が出来れば、それは将来の私たちにとって嬉しい事ではないでしょうか。

今は収集癖が高じた単なる「ロータリーのバッジ好き(1984-85年度のRIテーマバッジから収集スタート。現年度まであと2つでコンプリート!/)」で迷走中の私は、未だ至らずですが、マローニー氏のような『徽章好き』に達するには、まだまだ時間が掛かるようです。——皆さまはバッジ(歯車)に、どのような想いを込めていらっしゃいますか?

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也
(五所川原ロータリークラブ)